

耐震改修促進法に基づく

「要緊急安全確認大規模建築物」の耐震診断結果の公表

前橋市都市計画部建築指導課

令和2年3月24日

【小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	群馬県立盲学校	前橋市南町4-5-1	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「2次診断法」(1990)	Is/Is ₀ =1.41 C _T ・S _D =0.89			改修済
2	前橋市立春日中学校 (北校舎棟)	前橋市上佐鳥町207	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「2次診断法」(1990)	Is/Is ₀ =1.25 C _T ・S _D =0.38			改修済
3	前橋市立元総社中学校 (北校舎)	前橋市総社町総社3060	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「2次診断法」(1990)	Is/Is ₀ =1.41 C _T ・S _D =0.45			改修済

【体育館(一般公共の用に供されるもの)】

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震 に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	前橋市民体育館 (メインアリーナ)	前橋市上佐鳥町460-1	体育館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存 鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」 に定める「2次診断法」(2001)	Is/Is ₀ =1.41 C _{TU} ・S _D =0.87			改修済

【劇場、観覧場、映画館、演芸場】

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	群馬県民会館	前橋市日吉町1-14	劇場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(2001)に定める「2次診断法」	$I_s/I_{s0}=0.96$ $C_T \cdot S_D=0.47$	未定	未定	
2	前橋市民文化会館	前橋市南町3-62-1	劇場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(2001)に定める「2次診断法」	$I_s/I_{s0}=1.51$ $C_{TU} \cdot S_D=0.946$			改修済

【百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗】

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	スズラン前橋本館	前橋市千代田町4-7-3	百貨店	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(1997) (非充腹材) に定める「2次診断法」	$I_s/I_{s0}=0.73$ $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	未定	未定	

【ホテル、旅館】

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	(株)群馬ロイヤルホテル	前橋市大手町1-9-7	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(2009)(充腹材)に定める「2次診断法」	$I_s/I_{s0} = 0.22$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.07$	耐震改修	未定	

【博物館、美術館、図書館】

「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄の数値は、建築物の各階、各方向の最小のものを記載しています。

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	群馬県立図書館	前橋市日吉町1-9-1	図書館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「2次診断法」(2001)	$I_s/I_{s0} = 1.00$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.61$			改修済

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I	II	III
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「2次診断法」及び「3次診断法」 (1990年版)		$Is/Is_0 < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$
				$1.25 < C_T \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「2次診断法」及び「3次診断法」 (2001年版)		$Is/Is_0 < 0.5$ 又は $C_{Tu} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{Tu} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「2次診断法」及び「3次診断法」 (1997年版)	鉄骨が充腹材	$Is/Is_0 < 0.5$ 又は $C_{Tu} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{Tu} \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材	$Is/Is_0 < 0.5$ 又は $C_{Tu} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{Tu} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「2次診断法」及び「3次診断法」 (2009年版)	鉄骨が充腹材	$Is/Is_0 < 0.5$ 又は $C_{Tu} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{Tu} \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材	$Is/Is_0 < 0.5$ 又は $C_{Tu} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{Tu} \cdot S_D$

- I. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷するおそれは少なく、倒壊するおそれはない。